

ディスカバー むら 農山漁村の宝



令和5年度

東北農政局管内優良事例集

令和6年4月
東北農政局

東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の概要

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、**農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例**を選定し、全国に発信しているもの。また今回は、過去に選定された取組を対象に、選定後に著しい発展性がみられ、全国の模範となる事例については、**第10回記念賞として、1地区を選定**。

全国で選定された地区以外にあって、東北農政局管内には数多くの優良な事例が存在していることから、東北独自の特徴ある優れた取組について、東北農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として、今後の活躍が期待できる取組を東北農政局「ディスカバー農山漁村の宝」奨励賞として選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図ることとする。

選定の対象及び選定方法

選定の対象は、内閣官房及び農林水産省が実施した募集において**東北農政局管内から応募のあった103件**のうち、全国表彰で選定された4地区を除いた99件。

選定に当たっては、農政局内に設置した「選定委員会」による審査を経て、**7地区及び1名を優良事例**として選定し、**10地区を奨励賞**として選定。

選定証授与式・意見交換

令和5年12月22日(金曜日)仙台市内において、選定証授与式を開催。
選定証授与式では、前島東北農政局長から選定地区の代表者へ選定証を授与。

式典後、東北農政局選定地区及び全国選定地区による意見交換を行った。



前島東北農政局長からの挨拶



受賞者への選定証授与



受賞者の記念写真



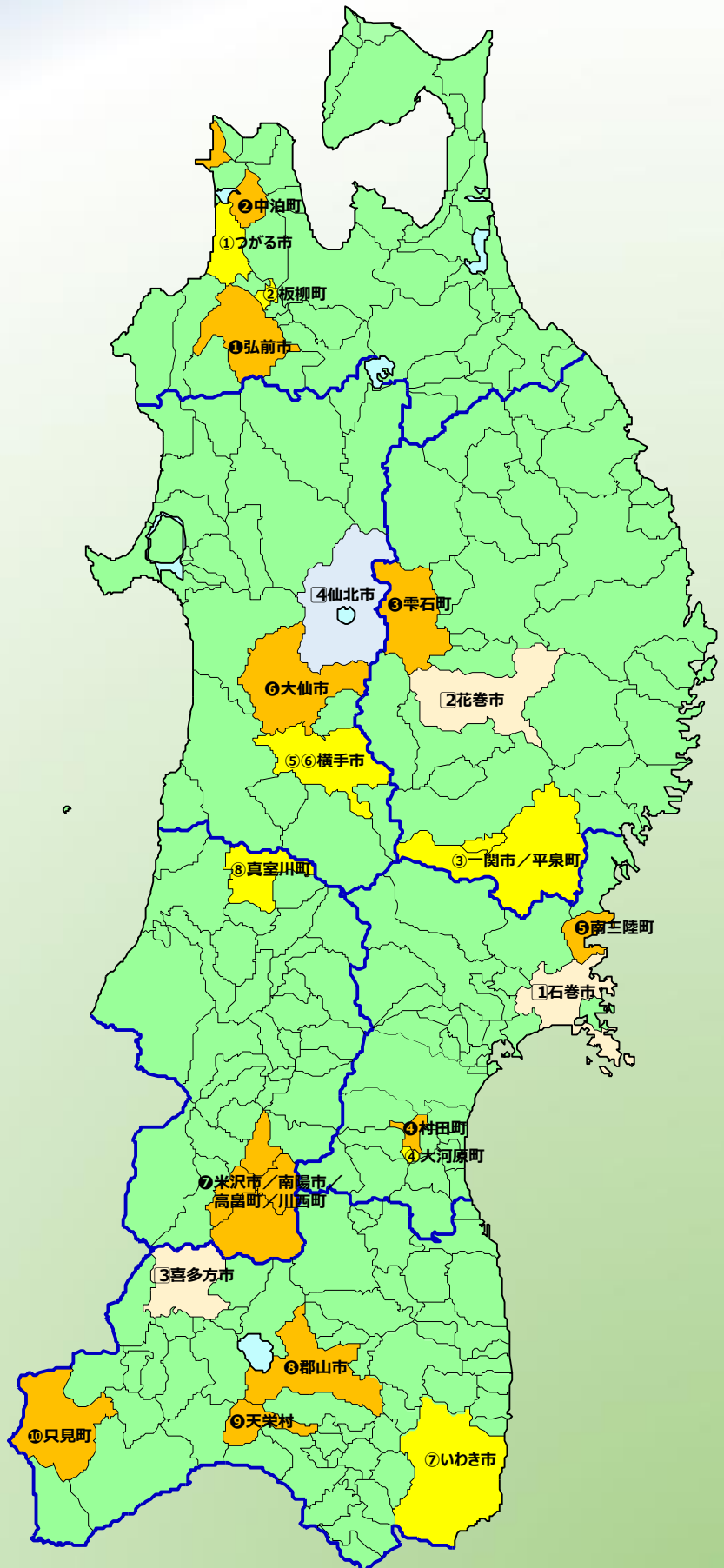
意見交換

令和5年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 選定地区位置図

令和5年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 選定7地区、1個人		
ビジネス・イノベーション部門		
株式会社黒滝農園	青森県つがる市	①
就労継続支援A型 にじのいろ	青森県板柳町	②
一関研農同志会	岩手県一関市／平泉町	③
宮城県柴田農林高等学校 森林環境科 森林専攻	宮城県大河原町	④
農事組合法人 館合ファーム	秋田県横手市	⑤
コミュニティ・地産地消部門		
秋田県南旭川水系土地改良区	秋田県横手市	⑥
福島県立小名浜海星高等学校【商業科】	福島県いわき市	⑦
個人部門		
佐藤 栄子	山形県真室川町	⑧
令和5年度 東北農政局 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 奨励賞		
歴史と伝説の里「鬼沢の会」（岩木川土地改良区）	青森県弘前市	①
十三湖地域環境公共推進協議会（十三湖土地改良区）	青森県中泊町	②
雫石町立雫石中学校家庭部	岩手県雫石町	③
一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター	宮城県村田町	④
入谷の里山活性化協議会	宮城県南三陸町	⑤
大曲環境協議会	秋田県大仙市	⑥
米沢地方森林組合	山形県米沢市／南陽市／高畠町／川西町	⑦
郡山女子大学 家政学部 食物栄養学科	福島県郡山市	⑧
天栄米栽培研究会	福島県天栄村	⑨
合同会社ねっか	福島県只見町	⑩

「第10回ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 全国選定3地区		
ビジネス・イノベーション部門		
一般社団法人イシノマキ・ファーム	宮城県石巻市	①
コミュニティ・地産地消部門		
高松第三行政区ふるさと地域協議会	岩手県花巻市	②
本木・早稲谷 堰と里山を守る会	福島県喜多方市	③

「第10回ディスカバー農山漁村（むら）の宝」 第10回記念賞		
仙北市農山村体験推進協議会	秋田県仙北市	④





青森県つがる市

6次産業化

農福連携

① 株式会社 黒滝農園

つがるの田園を守り、攻めの農業を次世代へ

★ 青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島



飼料用米「ゆたかまる」の刈り取り



黒にんにく、にんにく塩糀などの加工品



農福連携の体験実習でにんにくの皮むき指導

概要

飼料用米を主体とした経営の安定化とにんにく加工品販売による高収益化の実現。新規就農者育成と雇用を創出。

取組の効果

- 米価変動の影響を緩和するため、主食用米から飼料用米に、土地利用型転作作物として小麦から労働生産性が高い大豆に、転換したことにより、水田農業の規模拡大につながった。
- にんにくの下位等級品を「黒にんにく」や「にんにく塩糀」として製造・販売し、6次産業化に取り組む。地元直売所や量販店、EC販売、つがる市のふるさと納税返礼品採用など多様な販売ルートを確立出来た。
- 就農希望者4名を受入れ、栽培方法や営農計画の指導、就農に必要な農地のあっせん、機械を貸し出す支援を行っている。うち3名は独立して就農。
- 令和3年に障がい者の農作業体験をきっかけに、加工品のラベル貼りやにんにくの農作業を障がい者施設に委託。



青森県板柳町

農福連携

スマート農業

② 就労継続支援A型 にじのいろ

〈出来ないかも〉からのスタートで大丈夫！

★ 青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島



露地ピーマン定植作業



ノフクJASシールをつけてピーマンの出荷



依頼を受けた小玉スイカの定植作業

概要

農作業の細分化による出来ることの発見、適した作業の発掘を行うことにより、福祉施設での農業取組を開始。

ハウス及びAIによる液肥供給管理システムを導入し、管理負担の軽減と農業への取り組みやすさを実現。

取組の効果

- 耕作放棄地を取得しピーマンの栽培を開始。JAのピーマン部会に入会することをきっかけに、同部会員の農家から指導を受け、農業未経験のスタッフが農業技術を習得すると同時に農業用ハウスとAIによる液肥供給システムを導入することにより、管理負担の軽減と農業への取り組みやすさを実現。
- 栽培2年目から青果市場に出荷を開始し、丁寧な選別、袋詰めと安定出荷が評価されている。栽培5年目には、ノフクJASを取得。また、ピーマンの栽培マニュアルを地域に無償提供したことで、新規に作付ける農家が増加。
- 自社の取組がメディアに取り上げられることにより、小玉スイカ栽培農家から定植依頼を受けた。独自の作業細分化で、3時間で1,300本の定植を完了するようになり、手際の良さと作業の確実性が称賛され、次年度の継続依頼も獲得した。



岩手県一関市／平泉町

スマート農業

伝統の承継

③ 一関研農同志会

日本一農業の創造～若手が魅せる先進農業～

青森

秋田

★
岩手

山形

宮城

福島



スマート農業導入開始式



ごみ拾い活動



令和2年度スマート農業勉強会

概要

一関遊水地事業とは場整備事業によって大区画ほ場が誕生したことにより、地域の発展を強く望む若手農業者が団結して会を設立。

いち早くスマート農業を導入し、地域を先導する立役者となっている。

取組の効果

- 設立当初から毎年国内外の先進地を研修し、令和元年からはスマート農業勉強会を開催。このような活動を通じて若手農業者の知識向上を図ると共に、研修報告会を行うなど地域にスマート農業が根付く環境を地道に整備してきた。
- 平成28年からRTK基地局やGPSレベラーを導入。令和2年からはRTK基地局を利用したロボットトラクタや自動操舵システム、固定翼ドローンによるリモートセンシングを取り入れスマート農業が広く展開されている。
- 平成29年度から毎年3月に地域の主要幹線道路5kmのゴミ拾いを行っている。この活動は幹線道路に隣接する農地への不法投棄が多く、ゴミによる農作業事故の防止や地域の景観形成を整備する目的で開始した。この活動を通して、個人の農地という認識から、地域全体の農地という認識を持ってもらう取組となった。



宮城県大河原町

6次産業化

食育・教育

4

宮城県柴田農林高等学校

森林環境科 森林専攻

一雫からはじまるメープルストーリー

青森

秋田

岩手

山形

★
宮城

福島



樹液採集装置を設置



「青根の雫」30ml 小瓶

概要

カエデ属の樹から樹液を採集し、メープルシロップを製造。地域の企業と連携してメープルシロップを使用した新商品づくりに取り組んでいる。



初めての地元企業とコラボ商品

取組の効果

- メープルシロップ作りは平成29年の冬から開始。樹液採取の方法も分からず試行錯誤を繰り返しながら、採集時期や方法、濾過方法等の製造を確立した。シロップを煮詰める工程では、薪を使用してCO2排出量削減にも取り組んでいる。
- 平成30年から販売をスタートし、美味しくて貴重な国産のメープルシロップとして地域の方々から評価受け、令和3年には地元企業と初めて2つのコラボ商品を開発。令和4年には、新たに2社と商品開発を進めている。
- ラジオや新聞にも取り上げられ、地域の新しい特産品として少しずつ認知度が広がっている。



秋田県横手市

雇用

6次産業化

5

農事組合法人館合ファーム

地域の農業を担い、農村住民を支援する地域の中心的な法人

青森

★
秋田

岩手

山形

宮城

福島



地域資源の活用「伝統食 すいか糖の製品」



耕作放棄地の防止「水田・畑の維持・管理」



雇用の増大「菌床しいたけのハウス栽培」

概要

水稲栽培と作業受託、すいか、ほうれんそう等を栽培。
また、伝統食で農商工連携、所得・雇用の増大、地産地消への取組、耕作放棄地発生の防止など幅広い分野に取り組んでいる。

取組の効果

- ライスセンターの運営を母体に役員、構成員併せて22名で法人を設立し、周年雇用を考え、すいか、ほうれんそう、しいたけ栽培を開始。
- 地域の伝統食として高血圧改善等に効果があるとされる、すいか果汁を長時間煮込んだジャムのような「すいか糖」を加工・販売。
- すいかやほうれんそう、しいたけ(冬期出荷)を導入し、6名の周年雇用を実現し後継者を育成している。また、15名の女性を臨時雇用し、障害者雇用も毎年継続。小学校の学校給食にほうれんそうを提供している。
- 高齢化により農業を継続できない農家の受け手となり、農地の維持・管理を行うことで、耕作放棄地発生を未然に防止。



秋田県横手市

農林漁業
農村文化体験

食育・教育

6

秋田県南旭川水系土地改良区

学びの場を地域の子供達へ

青森

★
秋田

岩手

山形

宮城

福島



国営旭川左岸幹線用水路視察



キャベツの収穫



泥んこドッジボール

概要

農業用水の水源や経路を知る体験学習会、水源となる河川と触れ合う学習会、地産地消を考えた農園活動などを行うことで、農業農村に対する理解の醸成を図っている。

取組の効果

- 平成16年から地元小学生を中心に農業への理解醸成に取り組む活動を始めた。
- ダム～頭首工～水路を見て回る施設体験学習会を実施し、毎年120名程度が参加。水の大切さ、農業水利施設の役割、用水路への転落防止などの普及啓発に取り組んでいる。
- 農業はきれいな川を含め地域全体で成り立っていることを知ってもらうため、手作り筏によるラフティングや仮設プールで魚の掴み取りなど、自然とふれ合う学習を漁協と連携し行っている。
- 小学校と連携し、花・キャベツ等の栽培、菜種油の採取、水田での泥んこドッジボール、餅つきなどに取り組んでいる。特に、横手焼きそばを身近に感じてもらう取組として、キャベツ栽培を長年行っている。



福島県いわき市

多面的機能の
保全・発信

食育・教育

7

福島県立小名浜海星高等学校

【商業科】

小名浜から元気を全国へ発信します！

青森

秋田

岩手

山形

宮城

★福島



木戸川で鮭の稚魚放流と商品開発



間伐材の釣り竿と木魚 Cotton の糸

概要

高校生が地域資源を活用したソーシャルビジネスの提案をし、その取り組みを通して地域課題を払拭し、福島県の元気発信と復興を目指している。



地元果汁を使ったわたあめ販売

取組の効果

○東日本台風によってキウイ園が水没し収穫量が激減したことを知り、規格外のキウイを収穫し、地元パン屋での商品を開発。

○キウイの商品開発をきっかけに、檜葉町の木戸川漁港から、遡上数が激減した鮭のために商品開発の協力依頼があり、地元小名浜の企業と連携して商品開発を行っている。

○浜通りの復興につながればとして始まった「フルーツわたあめ®」の新メニューに、いわき市のキウイや鏡石町の桃やイチゴが加わり、出店依頼が地元以外からも来るようになった。

○新しいサービスの創造としては、昨年度開発した【常磐もの釣り体験セット（収穫した Cotton で紡いだ糸、県産間伐材で釣り竿と常磐もののサバとサンマ）】を、イベントの賞品として提供することを開始。



山形県真室川町

農泊

教育機関との連携

⑧ 佐藤 栄子

癒しの田舎で料理と自然満喫！果菜里庵

青森

秋田

岩手

★
山形

宮城

福島



裏山の木材を利用した入屋造りの農家民宿
果菜里庵全景



農業体験：芋堀り



農業体験：加工品づくり ピクルス



山形大学フィールドワーク

概要

自家栽培の野菜・山菜を利用した農業体験型民宿と、野菜や山菜を使用した加工品で最上伝統の味を広めている。

取組の効果

○平成28年度より、「山形大学フィールドワーク真室川」を受け入れ、大学生が農業体験を通じて、「食」と「農」の大切さを学ぶ機会を提供。

○伝承野菜を自家栽培しながら、素材を活かした加工品づくり（主に漬物）を体験実習として行っている。また、米と大豆を使った「味噌」の加工体験に取り組んでいる。

奨励賞

① 歴史と伝説の里「鬼沢の会」 岩木川土地改良区

青森県弘前市

★ 青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

明るく元気で「あずましい」まちづくり



「鬼沢の旅」ツアー風景（ニンニク収穫体験）



しめ縄奉納風景

概要

鬼楢地域を地域外へ紹介する農業体験ツアーの実施と、地域資源を守り、後世へ伝える取組及び人材を育成。

奨励賞

② 十三湖地域環境公共推進協議会 十三湖土地改良区

青森県中泊町

★ 青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

「環境公共」で豊かな地域資源を将来に引き継ぐ



水路の生態系観察



生態系保全看板作成

概要

県営高根地区湛水防除事業によりコンクリート化した水路について、中泊町教育委員会と連携して、「薄市小学校放課後子供教室」を活用して水質調査と生態系観察を実施。

奨励賞

③ 雫石町立雫石中学校

岩手県雫石町

青森

秋田

★ 岩手

山形

宮城

福島

雫中家庭部発、地域活性プロジェクト！



家庭部栽培さつまいも使用スイートポテタルト販売



地元産そば粉でそば打ち 独居高齢者宅へ進呈

概要

中学生主体の農業体験活動や食育の活動成果が地域福祉や地域活動へと発展拡充し、地域ニーズも応じた全国でも稀な文化部活動をおこなっている。

奨励賞

④ 一般財団法人 村田町ふるさとリフレッシュセンター

宮城県村田町

地産地消でにぎわいを創出



運営をしている「道の駅村田」



収穫体験を通して消費者と交流

概要

特産作物・そらまめをはじめとした農産物の販売、振興のためのイベント開催などの事業を展開。

青森

秋田

岩手

山形

★
宮城

福島

奨励賞

⑤ 入谷の里山活性化協議会

宮城県南三陸町

食べる体験する泊る!るる入谷農泊ベース



里山ランチ：竹皮で作ったエコ弁当
地場産食材で作った「もみじ弁当」



子どもを対象とした木工教室

概要

豊かな里山の地域資源を有効活用し、農山村地域の活性化を推進するため、地域一体となって取り組んでいる。

青森

秋田

岩手

山形

★
宮城

福島

奨励賞

⑥ 大曲環境協議会

秋田県大曲市

明日へ繋がる大地、子供達の未来はここ



集落共同の花壇にて除草作業



鳥害防止の為に魚礁の設置

概要

地域経済とコミュニティの活性化、子供達の環境活動、伝統文化及び歴史的施設の維持を行っている。

青森

★
秋田

岩手

山形

宮城

福島

奨励賞

⑦ 米沢地方森林組合

山形県米沢市／南陽市
／高畠町／川西町

わくわく広葉樹！炭でおじ山みんな生き生き



林業体験



炭焼き体験の様子

概要

炭焼き事業を中心として山をつくり、伝統技術を継承しながら人も山もおじさんも生き生きする事業を実施。

青森

秋田

岩手

★
山形

宮城

福島

奨励賞

⑧ 郡山女子大学 家政学部食物栄養学科

福島県郡山市

『カラダにええごま』が葛尾村も人も元気に！



えごまの播種、間引き、摘芯、収穫の様子



えごまを通じた村内での交流活動

概要

葛尾村の復興を目指し、えごま栽培を通じた地域活性化と特産物の開発を行い、学生らの食農教育を通じた人材を育成。

青森

秋田

岩手

山形

宮城

★ 福島

奨励賞

⑨ 天栄米栽培研究会

福島県天栄村

日本一の「天栄米」で人も地域も元気に！



天栄米のパッケージデザイン



田んぼのパートナー（都市農村交流）
による米づくり農業体験

概要

安全・安心な日本一美味しい米づくりを目指した「天栄米」の生産による社会的な評価の構築と地域の活性化を図っている。

青森

秋田

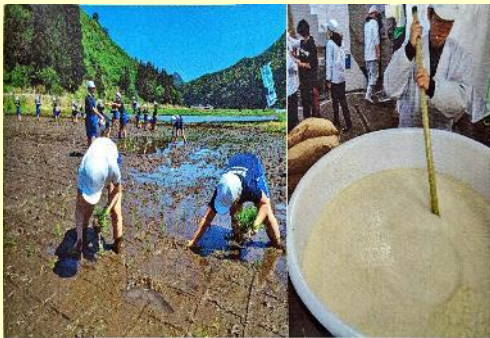
岩手

山形

宮城

★ 福島

守り、語り、継承ぐ（つなぐ）！



小学5年生の田植え・酒仕込み



小学生が作ったお酒・18歳の酒プロジェクト

概要

自社栽培米による米焼酎、輸出専用日本酒、どぶろくの製造と販売を行っている。

青森

秋田

岩手

山形

宮城

★ 福島

「ディスカバー農山漁村の宝」（第10回選定）選定地区一覧

西 国	中 国	近 畿	北 海 道
【6次産業化、食育・教育、環境保全（農林水産業・食品産業）】 No.24 愛媛県 伊方町 朝日共販株式会社	【水産業、地産地消、企業との連携】 No.18 島根県 大田市 大田商工会議所	【農福連携、6次産業化、環境保全】 No.15 滋賀県 長浜市 認定特定非営利活動法人つとひ	【林業、伝統的継承、関係人口の創出】 No.01 北海道 釧路市 一般社団法人おけと森林文化振興協会
【林業、環境保全（農林水産業・食品産業）】 No.25 高知県 大月町 大月町優良炭産産組合	【6次産業化、農業、女性の活躍】 No.19 島根県 大田市 笠木 真衣	【農業、食育・教育、農村環境・環境保全】 No.16 滋賀県 長浜市 ONE SLASH/RICE IS COMEDY	【農業、食育・教育、学生・若者の活躍】 No.02 北海道 中標津町 北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班
【多様な分野との連携、農泊、関係人口の創出】 No.26 高知県 黒潮町 特定非営利活動法人NPOの浜美園	【水産業、環境保全（農林水産業・食品産業）、教育機関との連携】 No.20 岡山県 玉野市 富永 邦彦	【林業、環境保全（農林水産業・食品産業）】 No.17 和歌山県 田辺市 株式会社中川	【農業、食育・教育、関係人口の創出】 No.03 岩手県 花巻市 高松第三行政区ふるさと地域協議会
【地産地消、伝統的継承】 No.27 福岡県 筑前町 株式会社 筑前町ファーマーズマーケットみなみの里	【農福連携、6次産業化、雇用】 No.21 広島県 三原市 株式会社八天塚ファーム（八天塚ぶどう園）	【農業、食育・教育、関係人口の創出】 No.09 富山県 富山市 社会福祉法人フォレスト八尾会	【農業、食育・教育、関係人口の創出】 No.04 宮城県 石巻市 一般社団法人イシノマキ・ファーム
【6次産業化、地産地消、女性の活躍】 No.28 沖縄県 石垣市 農業生産法人有限会社伊盛牧場	【6次産業化、地産地消、企業との連携】 No.22 広島県 三原市 広島みはらプロジェクト実行委員会	【地域活性化、企業との連携、水産業】 No.10 富山県 富山市 YY-Project（四方を良くするプロジェクト）	【農福連携、6次産業化、雇用】 No.05 福島県 喜多方市 本木・早稲谷 堀と山を守る会
【農福連携】 No.29 沖縄県 宮古島市 社会福祉法人みやご福祉会	【シビエ、和歌山県、女性の活躍】 No.23 広島県 神石高原町 株式会社BINGO	【農業のスマート化、6次産業化】 No.11 富山県 南砺市 トレボ一株式会社	【農業、農村文化体験、教育機関との連携】 No.06 茨城県 石岡市 特定非営利活動法人アグリヤさと

北 陸

【農山漁村アイノベーション、伝統的継承、農福連携】

No.09 富山県 富山市

社会福祉法人フォレスト八尾会

東 海

【6次産業化、地産地消、関係人口の創出】

No.13 愛知県 常滑市

株式会社デイリーファーム

東 北

【農業、農村文化体験、教育機関との連携】

No.07 茨城県 石岡市

特定非営利活動法人アグリヤさと

第10回記念賞

【農業、農村文化体験、関係人口の創出】

秋田県 仙北市

仙北市農山村体験推進協議会

（第3回選定）

計：29地区

（第10回記念賞含み30地区）

宮城県石巻市

1 一般社団法人イシノマキ・ファーム

農を通じ多様な人が豊かに暮らすまちづくり

農福連携

6次産業化

雇用



ホップ収穫イベント



ホップ収穫作業風景



クラフトビール製造（イシノマキホップワークス）



クラフトビール



ホップソルト

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

概要

津波被害等により増えていた休耕地でホップやサツマイモを栽培。農業には人が動かす力があると感じ、心身の不調を抱える人の就労支援の場として活用。シェアハウスを設置し、滞在型農業体験プログラムによる新規就農、定住を支援。

自社栽培ホップを使ったクラフトビールを製造・販売するほか、市内社会福祉法人と連携してホップソルト・干し芋を6次化商品として開発することで、農福連携による就労支援に貢献。

取組の効果

ホップ苗株植えのボランティアイベント・収穫体験ツアー・企業研修には、平成29年から延べ1,100人以上が参加し、地域活性化に寄与。

6次化商品の売上は、約300万円（令和2年度）から約2,000万円（令和4年度）に急増。農福連携推進のための作業マニュアルを整備し、雇用を創出。

岩手県花巻市

2

高松第三行政区ふるさと地域協議会

農村RMOで地域が元気になりました！

農村RMO

荒廃農地対策

農福連携



生活支援・外出支援



農用地の保全 工事中の農地整備事業



移住者のチカラ＝地域のチカラ



福祉農園



福祉農園

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

概要

遊休農地、耕作放棄地を活用した福祉農園で、山の木の实やサツマイモの栽培を1.2haまで拡大したほか、地区の70%を整備して農用地を保全。山の木の実を、交流しながら高齢者、障がい者、園児たちがゼリーに加工・販売。

住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らせるための諸課題に対する生活支援（外出支援、配食サービス、除雪支援等）を実施。

取組の効果

福祉農園への来訪者は、約1,700人（平成30年度）から約2,050人（令和4年度）に増加。遊休農地の活用面積は、40a（平成30年度）から80a（令和4年度）の2倍に増加。加工品の売上高は、150万円～160万円と安定して推移。

平成20年の協議会設立以来、10世帯が移住、2世帯がUターン、2世帯が孫ターン。今では、「ありがとう」「ごろうさま」と明るい声が響く。

福島県喜多方市

③ 本木・早稲谷 堰と里山を守る会

浚って応援、食べて応援、飲んで応援

棚田保全

環境保全
(農林水産業・食品産業)

関係人口の創出



棚田オーナーによる稲刈りの様子



災害復旧に取り組むボランティアの皆さん



ボランティアによる堰浚いの様子



山都小学校三年生による生き物調べ



令和3年にオープンした農産物直売所

青森

秋
田

岩
手

山
形

宮
城

★ 福島

概要

重労働を伴う山腹水路（本木上堰）の堰浚いを、「都会の人にボランティアで手伝ってもらったら」と募り、棚田が保全されるようになって24年目。小学生との生き物調査や昆虫図鑑作成などの活動により、里山の生物多様性への関心も醸成。

棚田米は「上堰米」としてブランド化。地元酒造会社が2万円／60kgで買い取り、醸造された「上堰米のお酒」は200円の寄付金付きで販売され、営農と会の継続を支える。農産物直売所は、非農家の参加も得て、地域活性化にも貢献。

取組の効果

堰浚いボランティアの参加者数は、約40人（平成30年度）から約60人（令和4年度）に増加。ボランティア活動により、都市住民は充実感や達成感を得ることができ、地元住民は堰や棚田・里山の価値を再認識。

棚田米の販売量は、約1,400kg（平成30年度）から約2,100kg（令和4年度）に増加。醸造された日本酒は、年間1,000本程度（平成30年度～令和4年度）の流通を維持。

4 仙北市農山村体験推進協議会

仙北市グリーンツーリズム～農村でみんな笑顔に～

農泊

農村文化体験

関係人口の創出



農家民宿のオーナーと語り合うFIT客



農家民宿等で収穫した農産物の詰め合わせ



キャッシュレス決済の導入



農家民宿でのFIT客滞在の様子



学びと暮らしを体感する「家族留学」ツアー

青森



秋田

岩手

山形

宮城

福島

概要

第3回選定後、旅行業務取扱管理者資格の取得や地域限定旅行業の登録により、個人ではなく協議会としてワンストップサービスの体制を構築。任意団体から法人化。コロナ禍でも独自の感染症ガイドラインを作成し、万全の態勢で積極的に受け入れ。様々な世代が楽しめるスノーシュー体験や電動キックボード等を取り入れて体験コンテンツの充実を図ったほか、「家族留学」を販売し交流人口の増加に取り組む。コロナ収束後の集客に向けて、農産物の物販事業も開始。

取組の効果

日本語と英語で制作したホームページで体験情報を提供し、リクエスト型で予約手配を実施することで、問い合わせが増加しており、ホームページ訪問者数は、約5,700件（平成30年度）から約40,400件（令和4年度）に増加。

キャッシュレス決済の導入、地域の実情に精通するネイティブスピーカー2名の配置等により、農家民宿等外国人宿泊者数は、801人（平成27年度）から2,554人（令和元年度）に増加。コロナ禍で落ち込んだが、令和5年度は2,050人を見込む。



お問合せ先

東北農政局 農村振興部 都市農村交流課 (TEL)022-221-6249
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1(仙台合同庁舎)

「ディスカバー農山漁村の宝アワード」ホームページ

[URL] <https://www.discovermuranotakara.com/>